



全国畜産縦断いきいきネットワーク

令和7年度総会資料

■目次

令和7年度総会次第	1
-----------	---

[報告事項]

(1) 令和6年度活動報告に関する件	2
(2) 令和6年度収支決算報告に関する件	9

[決議事項]

第1号議案 令和7年度理事の改選に関する件	11
-----------------------	----

[参考資料]

I. 令和7年度活動計画及び収支予算	
1. 令和7年度活動計画	14
2. 令和7年度収支予算	17
II. 令和6年度理事	19
III. 会員名簿	20

【報告事項】

(1) 令和6年度活動報告に関する件

令和6年度活動について、別紙のとおり報告する。

以上提出する。

全国畜産縦断いきいきネットワーク
会 長 畠 中 五 恵 子

令和6年度活動報告

令和6年度は、愛知県名古屋市にて「国際養鶏養豚総合展 2024」が開催され、いきいきネットワークではフードコーナーにブースを出展し、会員が生産した畜産物を加工した商品の販売・PR活動を実施した。また、総会、大会、行政との意見交換会を現地並びにオンラインにて開催した。さらに、中央畜産会が主催する「現地視察研修 in 山形」を山形県下で開催され、山形県内の畜産女性グループ「モアモー女性の会」と研修並びに交流を図ったところである。

本ネットワークでは、令和5年度に引き続き、今後のネットワークの組織強化に向け、理事を中心に全国の畜産女性のつながりを強化するための検討を重ねてきた。

今後も、広く会員の意見をくみあげ、積極的な活動への参加を図り、組織の弱体化を防ぎ、活性化に努めていく。

会員には、各活動の企画・具体化等についての積極的な参加をお願いするとともに、企画案や「こんなことをやりたい」等の要望を随時募集していく。

(1) 総会の実施

議決事項を決議するため令和6年10月29日に開催した。

【報告事項】

- ・(1) 令和5年度活動報告
- ・(2) 令和5年度収支決算報告

(2) 理事会の開催

本ネットワークの活動計画や運営方針等を協議するため、理事10名（うち会長1名、副会長2名、会計担当理事2名）体制で理事会を下記の日程で開催した。

- ・第1回：令和6年5月28日

(3) 会員拡大と会員サービスの充実

ア 既存会員へのサービス

いきいき通信や事務局通信にて、ネットワーク活動やセミナー等の案内等の情報を提供した。

イ 新規会員の拡充

生産者、関連企業、団体等の畜産女性にチラシ等で入会案内を実施した。

今回の大会で新規2名が加入した。また、山形県での現地研修会に参加した1名が加入した。

会員数の拡大に努めたが、会費未納者の退会等により、会員数が減少した。

※平成17年発足当初、257名いた会員が令和2年に100名を切った。

<会員状況（会員数・入会・退会）>（令和6年4月1日現在）

年度	期首会員数 (4月1日)	入会員数	退会員数	期末会員数 (3月31日)
平成17年度	257名			
平成18年度	246名			
平成19年度	190名			
平成20年度	177名			
平成21年度	171名			
平成22年度	152名			
平成23年度	154名			
平成24年度	133名			
平成25年度	125名			
平成26年度	116名			
平成27年度	108名			
平成28年度	103名			
平成29年度	105名			
平成30年度	102名			
令和元年度	100名	8名	10名	98名
令和2年度	98名	1名	7名	92名
令和3年度	88名	1名	2名	87名
令和4年度	86名	0名	3名	83名
令和5年度	79名	5名	12名	72名
令和6年度	68名	3名	5名	66名
令和7年度	66名			

※令和6年度退会者名のうち、会費未納による退会2名。

ウ 会員サービスの拡充

「畜産手帳」（中央畜産会発行）へ会の名入れサービスを実施した（20冊）。
また、協賛会員には、会報誌に広告や社名・団体名を掲載した。

エ ロゴマークの活用

シンボルマークとして、「いきいき通信」、その他印刷物等で、積極的に活用し、
本ネットワークのPRに努めた。

オ 協賛会員

令和6年度協賛会員は以下の26社・団体。※令和5年度協賛会員21社

(継続会員) 21社・団体 ※50音順

オリオン機械株式会社	一般社団法人家畜改良事業団
全国食肉事業協同組合連合会	全国畜産農業協同組合連合会
全国肉牛事業協同組合	公益社団法人全国農業共済協会
全国農業協同組合連合会	全国酪農業協同組合連合会
株式会社大建情報システム	一般財団法人畜産環境整備機構
中部エコテック株式会社	株式会社天神製作所
株式会社中嶋製作所	公益社団法人日本食肉格付協会
協同組合日本飼料工業	一般社団法人日本ホルスタイン登録協会
一般社団法人日本養豚協会	日本養豚事業協同組合
独立行政法人農畜産業振興機構	富士平工業株式会社
日本酪農政治連盟	

(新規会員) 5社・団体

株式会社コトブキソリューション	東西産業貿易株式会社
株式会社日本農業新聞	一般社団法人日本養鶏協会
株式会社博秀工芸	

(継続のなかった会員) 1団体

埼玉県武州和牛組合

(4) 大会の開催

令和6年度は「今こそ国産の力を！～国産畜産物の魅力を発信しよう～」をテーマに参加者一人一人が国産畜産物の魅力や現場で働く思い、その中で果たす女性の役割、畜産業未来等について、語り合うことを目的に下記の通り開催した。

- ◇開催日：令和6年10月29日（火）
- ◇開催場所：全国家電会館 5階講堂（東京都文京区湯島3丁目6番1号）
- ◇開催方式：現地参加およびオンライン参加
- ◇参加人数：会員ほか109名
- ◇開催内容
 - ・基調講演 「今、畜産業ができること」
講演者 農林水産省 畜産局 企画課長 廣岡 亮介 氏
 - ・全員2分間スピーチ
 - ・大会宣言

(5) 情報発信、会員間の意見・情報交換

「会員間の意見・情報交換」、「最新情報の収集」を行い、情報提供活動に努めた。

ア 会員誌の発行

「いきいき通信」を3回発行した。

- ・第38号：令和6年4月発行
- ・第39号：令和6年10月発行
- ・第40号：令和7年2月発行

イ 事務局通信の発行

事務局からの報告や緊急性を要する連絡事項等について、随時FAX等により周知を図った。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ・事務局通信102号：5月13日発行 | ・事務局通信103号：6月14日発行 |
| ・事務局通信104号：8月27日発行 | ・事務局通信105号：9月10日発行 |
| ・事務局通信106号：1月7日発行 | ・事務局通信107号：2月3日発行 |
| ・事務局通信108号：2月5日発行 | |

ウ 「畜産コンサルタント誌」におけるコーナーの活用

大会や国際養鶏養豚における会員の活躍等の情報を提供した。

エ ホームページによる情報発信

令和6年度行事についての報告等、インターネットを活用した情報発信を行った。

引き続き最新の情報提供を行い、組織への参加意識を高めるようなホームページ作りに努める。

◇掲載内容

- ・令和6年度大会結果報告
- ・令和6年度大会宣言
- ・令和6年度理事名簿
- ・いきいき通信 第38号～40号
- ・事務局通信 第102号～108号

(6) 消費者等との交流、研修会等の開催

ア 消費者等との交流

国際養鶏養豚総合展（IPPS）2024（令和6年4月24日～26日）においてフードコーナーにてブースを出展し、会員が生産した畜産物を使用した加工品の販売ならびにPR活動を実施した。

イ 研修会等への参加

会員に対して、中央畜産会が実施する「現地視察研修会 in 山形県」、「全国畜産経営優良管理技術者発表会」開催（オンライン配信）について案内した。

また、事務局通信にて日本農業新聞が実施する「農業資機材・サービス オンライン展示会」開催の案内を行った。

(7) 若手後継者の確保・育成

ア 若手後継者同士、親世代との交流

①現地視察研修 in 山形

中央畜産会が実施する事業（多様な担い手育成支援事業）と連携し、山形県下において、以下のとおり若手後継者の育成を目的とした研修会を実施した、また、研修会を通じて山形県内の畜産女性グループ「モアモー女性の会」と意見交換等を行い、交流を深めた。

◇開催日時：令和6年11月13日（火）～14日（水）

◇開催場所：山形県内

◇参加人数：会員等11名、講師4名、関係者14名

◇講演：

「山形県の畜産について」

講演者：山形県畜産協会 専務理事 上野 宏樹 氏

「山形牛のおいしさと最新の研究状況」

講演者：山形県畜産研究所 小松 智彦 氏

「山形県における乳牛改良事業の推進」

講演者山形県畜産研究所 渡部 真理安 氏

「(株)蔵王ファームにおける働き方」

講演者：(株)蔵王ファーム 常務取締役 高橋 美幸 氏

②全国優良畜産経営管理技術発表会

会員に対して、中央畜産会が実施する「全国畜産経営優良管理技術者発表会」の開催（オンライン配信）について案内した。

イ 若手会員のための活動の実施

若手会員間の意見交換の場として、SNSの活用等、よりアクセスしやすい情報交換の手段・方法等について検討した。

(8) 行政等との意見交換

中央での畜産行政の現状等について学ぶとともに、畜産関係行政ご担当の方々との意見の交換を通じて、畜産の置かれた現状について理解を深めることを目的として下記の通り実施した。

◇開催日時：令和6年10月30日（水）10：00～12：00

◇開催会場：農林水産省 畜産局第1会議室

◇参加人数：会員等13名、農林水産省13名

◇テーマ：「疾病対策、獣医師等について」

「疾病対策、獣医師等について」

「農畜産物の適正な価格形成について」

「経営継続のための施策について」

（９）畜産生産者グループ等との交流

令和6年11月13日～14日の2日間、中央畜産会が主催する「現地視察研修会 in 山形県」が開催され29名の生産者・関係者が参加した。研修を通じて山形県内の畜産女性グループ「モアモー女性の会」と意見交換等を行い、交流を深めた。

（10）国際養鶏養豚総合展 2024（IPPS）の出展

国際養鶏養豚総合展（IPPS）2024（令和6年4月24日～26日）においてフードコーナーにてブースを出展し、会員が生産した畜産物を使用した加工品の販売ならびにPR活動を実施した。

【報告事項】

(2) 令和6年度収支決算報告に関する件

令和6年度収支決算について、別紙のとおり報告する。

以上提出する。

全国畜産縦断いきいきネットワーク
会 長 畠 中 五 恵 子

全国畜産縦断いきいきネットワーク令和7年度総会資料

収入の部

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

事業区分	予算額	決算額	差異	備考
1 会費収入	1,016,000	882,000	134,000	・会費収入 (402,000円) 令和7年度会費 1名×6,000円= 6,000円 令和6年度会費 53名×6,000円= 318,000円 令和5年度会費 (未納分) 7名×6,000円= 42,000円 令和4年度会費 (未納分) 3名×6,000円= 18,000円 令和3年度会費 (未納分) 3名×6,000円= 18,000円 ・協賛会費 (480,000円) 令和6年度 24団体×20,000円=480,000円
2 大会参加収入	240,000	352,000	△ 112,000	・大会参加費 40名×4,000円=160,000円(会員18、友人3、地方12、関係7) ・情報交流会参加費
3 研修会等参加収入	20,000	0	20,000	
4 広告料収入	100,000	110,000	△ 10,000	・広告掲載費 令和6年度11口×10,000円= 110,000円
5 寄付金収入	1,000	0	1,000	実績なし
6 特別事業収入	130,000	131,150	△ 1,150	・国際養鶏養豚総合展2024出展に係る販売物収入
7 雑収入	1,000	1,286	△ 286	8/21 上半期分普通預金利息 192円 2/17 上半期分普通預金利息 1,094円
当期収入合計	1,508,000	1,476,436	31,564 (A)	
前期繰越収支差額	3,370,900	3,370,900	0	
収入合計	4,878,900	4,847,336	31,564 (B)	

支出の部

事業区分	予算額	決算額	差異	備考
1 理事会開催費	336,800	0	336,800	・実績なし
2 大会開催費	305,600	332,735	△ 27,135	大会開催費 ・会場借料 10/29 全国家電気館 86,625円 ・印刷製本費 9/27 日本印刷 45,200円 ・消耗品費 11/28 京和工業印刷 8,030円 ・会議費 10/29 センtralフーズさんいち 192,000円 ・振込手数料 11/28 880円
3 意見交換会開催費	6,500	0	6,500	・茶菓代：実績無し
4 研修会等開催費	210,500	150,951	59,549	(1) 現地視察研修会 ・手土産代：実績なし ・資料印刷費：実績なし ・振込手数料：実績なし (2) 国際養鶏養豚総合展2024 (ブース出展) ・旅費 53,887円 ・消耗品費 94,534円 ①販売品仕入費 85,151円 ②消耗品等 9,383円 ・振込手数料 2,530円 ・雑費：実績なし
5 情報提供・収集費	420,000	0	420,000	・印刷代 いきいき通信：実績なし (細包・発送のみ外注) ・資料収集等：実績なし ・HP等改修費：実績なし
6 渉外費	10,000	0	10,000	・ネット活動PR、他ネット交流等：実績なし
7 賃金	20,000	0	20,000	・大会等補助アルバイト：実績なし
8 事務諸費	168,600	209,809	△ 41,209	・旅費交通費：356円 ・通信運搬費 上半期 切手代80,298円 下半期 切手代50,440円 託送料 3,223円 メーリングリスト 6,000円 ・消耗品費：実績なし ・印刷製本費 上半期コピー代 39,295円 下半期コピー代 23,597円 ・賃借料：実績なし ・支払手数料 ①手数料：実績なし ②ゆうちょBiz (4月～3月)：6,600円
9 会費及び賛助金	0	0	0	
10 雑費	10,000	550	9,450	4/15 令和5年度末残高証明書発行手数料 550円
11 予備費	20,000	0	20,000	
当期支出合計	1,508,000	694,045	813,955 (C)	
当期収支差額	0	782,391	△ 782,391 (A) - (C)	
次期繰越収支差額	3,370,900	4,153,291	△ 782,391 (B) - (C)	

諸帳簿、証拠書類等を監査し、適正に処理されましたことを報告します。

令和7年11月28日

会計担当理事

久保 香代子

砂流 裕美子



【決議事項】

第1号議案

令和7年度理事の改選に関する件

令和7年度理事について、別紙のとおり選任することについて、承認を求める。

以上提出する。

全国畜産縦断いきいきネットワーク
会 長 畠 中 五 恵 子

令和7年度理事（案）

地 域	氏 名	都道府県	畜 種
北海道・東北 北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	小林 晴香	北海道	酪 農
	福田 祐子	福島県	酪 農
関 東 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京 神奈川・山梨・長野・静岡	久保 香代子	埼玉県	肉用牛
	田中 真紀子	神奈川県	酪 農
	原 奈美	山梨県	肉用牛
	本郷 万里子	長野県	採卵鶏
北 陸 新潟・富山・石川・福井	佐藤 菜々子	新潟県	養 豚
東 海 岐阜・愛知・三重	石川 あい子	愛知県	養 豚
近 畿 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	-	-	-
中国・四国 鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島 香川・愛媛・高知	砂流 裕美子	島根県	酪 農
九州・沖縄 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島 沖縄	畠中 五恵子	福岡県	採卵鶏

【参考資料】

I. 令和7年度活動計画及び収支予算

1. 令和7年度活動計画

会員募集チラシの配布、大会等への参加呼びかけ、HPの有効活用等、様々な機会において畜産女性等に入会を促し、会員及び協賛会員の拡充を図り、会員数については、100名、協賛会員については、令和3年度の水準の40組織を目指す。

(1) 総会の開催

総会は、議決事項を決議するため年度内に1回開催する。

(2) 理事会の開催

本ネットワークの活動計画や運営方針等を協議するため、理事会を必要に応じて3回を上限に開催する。

(3) 会員拡大と会員サービスの拡充

ア 既存会員へのサービス

いきいき通信や事務局通信にて、ネットワークの活動やセミナー等の案内等の情報を提供する。

イ 新規会員の拡充

生産者、関連企業、団体、行政等の畜産女性にチラシ等で入会の案内を実施する。

本ネットワークに興味・関心のある畜産女性に大会、研修会等への参加を呼び掛ける。また、大会参加者等に対し、入会初年度会費は無料としているため、積極的な勧誘を実施する。

ウ 協賛会員へのサービス拡大

中央畜産会の会員（中央、地方、賛助、施設機械部会会員）等に積極的に加入を呼びかけ、ネットワークを支援する「協賛会員」の拡大を図る。

(4) 大会の開催

ネットワークの強化、畜産に関する最新情報の共有等を目的に大会を開催する。

なお、昨年度に引き続き、中央畜産会が実施する多様な担い手の確保・参入促進、後継者等の経営管理技術の向上等を目的とした事業の研修会を同日に開催する。

(5) 情報発信、会員間の意見・情報交換

会員誌「いきいき通信」を定期的に発行するとともに、ホームページや事務局通信を通じて会員についての情報提供や研修会等の行事の案内を行う。

ア 会員誌「いきいき通信」の発行

より多くの会員の執筆により、定期的に発行する（年2回予定）。

特にあまり活動等に参加できない会員の方の近況等を紹介する「会員紹介のコーナー」の充実を図る。

イ 「事務局通信」の発行

各地域や中央畜産会が開催するイベント等の会員に参考となる情報をいち早く提供するため、FAX等により事務局から情報発信する。

ウ 『畜産コンサルタント』誌における専門コーナーの活用

中央畜産会が発行する「畜産コンサルタント」誌の専門コーナーを活用し、いきいきネットワーク会員の活躍等に関する情報提供を行う。

エ ホームページによる情報発信

大会等のイベントに関する情報やいきいき通信、事務局通信等に関する情報を定期手に提供していく。

（6）消費者等との交流、研修会等への参加

ア 消費者等との交流

各関係団体や地域のホームページ等より情報収集を行い、会員への情報提供を行うとともに、イベントへの積極的な参加を促す。

イ 研修会等への参加

中央畜産会等が開催する、経営・生産・流通に関する研修会等に関する情報を提供し、参加を促す。

（7）若手後継者の確保・育成

ア 若手後継者同士、親世代との交流

中央畜産会が実施する多様な担い手の確保・参入促進、後継者等の経営管理技術の向上等を目的とした事業において現地視察研修を開催し、交流を深める。

イ 若手会員のための活動の実施

HP上での情報発信を中心に、若手会員に馴染みのあるSNS等を通じて、若手会員に関する情報を提供していく。

（8）行政との意見交換等

大会の開催等と併せて、テーマを会員から募集し、国との意見交換を実施する。

ア 開催日時：総会、大会開催の翌日 10：00～12：00

イ 開催場所：農林水産省会議室（予定）

（９）畜産生産者グループ等との交流

畜産生産者グループ等と積極的に交流し、会員へのサービス拡充、新規入会者の確保等に資する。

2. 令和7年度収支予算

収入の部

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

事業区分	予算額	前年度予算額	差異	備考
1 会員会費収入	1,012,000	1,016,000	△ 4,000	会員会費 令和7年度会費 65名×6,000円=390,000円 令和6年度会費(未納分) 9名×6,000円= 54,000円 令和5年度会費(未納分) 4名×6,000円= 24,000円 令和4年度会費(未納分) 4名×6,000円= 24,000円 ・協賛会員 26団体×20,000円=520,000円
2 大会参加収入	240,000	240,000	0	60名×4,000円=240,000円
3 研修会等参加収入	0	20,000	△ 20,000	
4 広告料収入	110,000	100,000	10,000	11口×10,000円=110,000円
5 寄付金収入	1,000	1,000	0	
6 特別事業収入	1,000	130,000	△ 129,000	
7 雑収入	1,000	1,000	0	・預金利子等
当期収入合計	1,365,000	1,508,000	△ 143,000	(A)
前期繰越収支差額	4,153,291	3,370,900	782,391	
収入合計	5,518,291	4,878,900	639,391	(B)

支出の部

事業区分	予算額	前年度予算額	差異	備考
1 理事会開催費	236,800	336,800	△ 100,000	・会場借料（基本は中畜会議室、1回分保険） 20,000円×1回=20,000円 ・旅費・交通費（1/2旅費補助 10名/回） 100,000円×2回=200,000円 ・振込手数料16,800円 ①理事×10名×2回 ②会場×1回
2 大会開催費	330,000	305,600	24,400	（1）大会実行委員会開催費 ・旅費・交通費：100,000円 ・茶菓子代：1,000円 ・振込手数料（旅費）：3,000円 （2）大会開催費 ・会場借料：150,000円 ・講師懇親会費：5,000円 ・印刷製本費：50,000円 ・通信運搬費：10,000円 ・振込手数料：1,000円 ・備品代等：10,000円
3 意見交換会開催費	6,500	6,500	0	・茶菓子代：130円×50名×1回=6,500円
4 研修会等開催費	100,000	210,500	△ 110,500	・後継者育成等開催経費（バス借上げ等）
5 情報提供・収集費	420,000	420,000	0	・印刷代：300,000円 - いきいき通信：150,000円×2回=300,000円 ・印刷物送代：100,000円 ・資料収集等：10,000円 ・HP等改修費：10,000円
6 渉外費	10,000	10,000	0	・ネット活動PR、他ネット交流等 10,000円×1回=10,000円
7 賃金	20,000	20,000	0	・大会等補助アルバイト 2名×1日×10,000円=20,000円
8 事務諸費	211,700	168,600	43,100	・旅費交通費：1,000円 ・通信運搬費：130,000円 ・消耗品費：10,000円 ・印刷製本費：63,000円 ・支払手数料：7,700円 ①手数料1,100円 ②ゆうちょBIZ 550円/月×12カ月：6,600円
9 会費及び賛助金	0	0	0	
10 雑費	10,000	10,000	0	
11 予備費	20,000	20,000	0	
当期支出合計	1,365,000	2,239,000	△ 874,000	(C)
当期収支差額	0	△ 731,000	731,000	(A) - (C)
次期繰越収支差額	4,153,291	2,639,900	1,513,391	(B) - (C)

Ⅱ. 令和6年度理事

役員

区 分	氏 名	都道府県	畜 種
会 長	畠中 五恵子	福岡県	採卵鶏
副会長	福田 弥生	神奈川県	酪 農
会計担当理事	久保 香代子	埼玉県	肉用牛
	砂流 裕美子	島根県	酪 農

理事（※理事15名以内体制）

区 分	氏 名	都道府県	畜 種
北海道・東北 北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	小林 晴香	北海道	酪 農
関 東 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京 神奈川・山梨・長野・静岡	久保 香代子	埼玉県	肉用牛
	福田 弥生	神奈川県	酪 農
	本郷 万里子	長野県	採卵鶏
北 陸 新潟・富山・石川・福井	佐藤 菜菜子	新潟県	養 豚
東 海 岐阜・愛知・三重	石川 あい子	愛知県	養 豚
近 畿 滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山	—	—	—
中国・四国 鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川 愛媛・高知	砂流 裕美子	島根県	酪 農
	熊野 智子	愛媛県	採卵鶏
九州・沖縄 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・ 沖縄	畠中 五恵子	福岡県	採卵鶏
	眞栄城 美保子	沖縄県	肉用牛

Ⅲ. 会員名簿

全国畜産縦断いきいきネットワーク会員名簿(令和7年4月1日現在)

No	都道府県	名前	酪農	肉用牛	養豚	採卵鶏	養蜂	その他 支援機関
1	北海道	小林 晴香	1					
2	北海道	柳原 美智子		1				
3	青森県	沢目 禎子		1				
4	岩手県	白戸 綾子						1
5	秋田県	柴田 誠子	1					
6	秋田県	柴田 瑞穂	1					
7	福島県	木目澤 久實子	1					
8	福島県	先崎 幸江		1				
9	福島県	福田 祐子	1					
10	埼玉県	金谷 恭子		1				
11	埼玉県	久保 香代子		1				
12	埼玉県	嶋田 文代				1		
13	埼玉県	谷口 知子		1				
14	埼玉県	塚田 あつ子		1				
15	埼玉県	吉田 英子	1					
16	千葉県	池田 美香	1					
17	千葉県	伊藤 睦子	1					
18	千葉県	尾形 玲子					1	
19	千葉県	川名 初江	1					
20	千葉県	柴 しづい			1			
21	東京都	西銘 容子						1
22	神奈川	石井 絵美子		1				
23	神奈川	臼井 スミ子			1			
24	神奈川	北見 満智子			1			
25	神奈川	田中 真紀子	1					
26	神奈川	福田 弥生	1					
27	神奈川	柿澤 美里	1					
28	新潟県	島田 玲子			1			
29	新潟県	佐藤 菜菜子			1			
30	富山県	長井 節子	1					
31	富山県	西井 純						1
32	山梨県	原 奈美		1				
33	長野県	佐藤 弘子			1			
34	長野県	本郷 万里子				1		
35	静岡県	杉村 雅子		1				
36	愛知県	石川 あい子			1			
37	愛知県	清水 ほづみ	1					
38	三重県	加藤 美子		1				
39	三重県	小林 陽子			1			
40	三重県	竹内 友子		1				
41	三重県	萩 美智代		1				
42	三重県	堀川 ゆかり						1
43	三重県	松葉 里美			1			
44	三重県	山下 恵美子				1		
45	滋賀県	池田 喜久子	1					
46	大阪府	眞榮城 美保子						1
47	奈良県	泉澤 ちゑ子			1			
48	奈良県	竹田 茂都美	1					
49	島根県	砂流 裕美子	1					
50	島根県	小林 礼子	1					
51	岡山県	藤井 美佐				1		
52	岡山県	松下 久美子		1	1			
53	岡山県	三浦 景子		1		1		
54	山口県	小野 綾乃			1			
55	山口県	松本 眞利子		1				
56	香川県	中条 麻子		1				
57	愛媛県	熊野 智子				1		
58	愛媛県	酒井 美子			1			
59	福岡県	江口 準子		1				
60	福岡県	畠中 五恵子				1		
61	熊本県	大藪 真裕美	1					
62	熊本県	那須 眞理子		1				
63	熊本県	前田 佳良子			1			
64	大分県	山下 眞弓	1					
65	鹿児島	鳩野 トミ子	1					
計			21	19	14	7	1	5